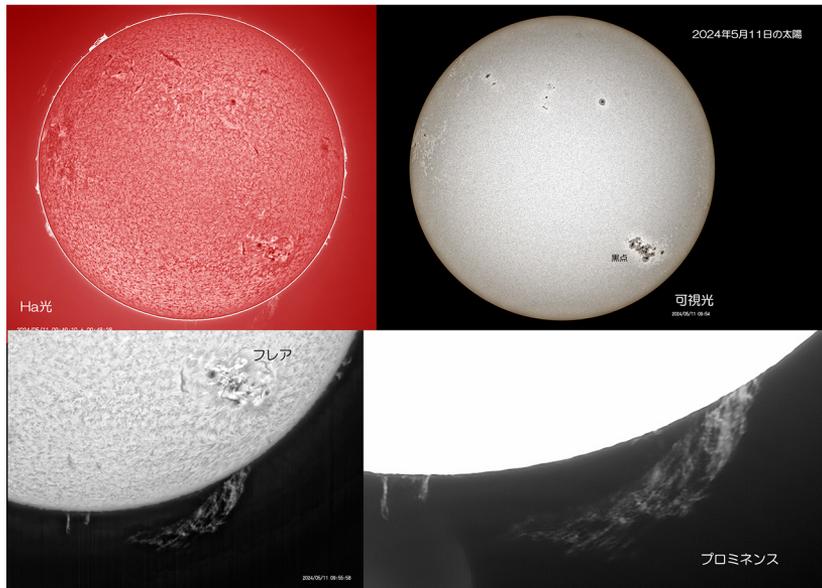


星屑

2024年8月号

No. 593



2024年5月11日の太陽

可視光 90mmマクセル直焦点

Ha光 LuntLS50THa

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

約80年に一度、2等級 にまで増光！ 見えるか！？

反復新星 = かんむり座T星 の 爆発！

まだ爆発せず、7月初旬まで10等台で推移 Seestar で観測継続中

6/15(土)、一般公開しましたが、雲が多く来台者なし

スタッフ3名でかんむり座T星やC/2023 A3彗星などについて情報交換会

夕方、ところどころに青い空が見えたので開台。集まったスタッフは3名、日中の気温が高かったので、スライディングルーフを開けて望遠鏡に主鏡冷却ファンを取り付け、45分ほど作動させました。時々半月が見えたのですが、来台者はなく、21時で公開を終了しました。

6/19(水)、城南図書館の展示を更新

ペルセウス座流星群とかんむり座T星（再発新星）についての解説パネルを展示



「夏」の星空解説バージョンです。今回は、県民天文台の紹介・夏の星座・流れ星・ペルセウス座流星群。それに、かんむり座T星（反復新星）の話題も紹介しています。

運良く「かんむり座T星」が夏の間爆発したら、平常時と増光時の画像などを加えて、展示内容の一部を更新しようと考えています。天文現象ですから、夏の間そんな都合良く爆発するかは分かりませんがね。

梅雨入りしたばかりです、雨が本格的に降り始めると展示パネルの運搬や搬入がやりにくくなるので、貴重な晴れ間をねらっての制作・更新作業でした。

6/22(土)、曇り空だがぜひ月を見たい！ で、一般公開

日暮れ前頃、雲のスキマとところどころ青空が見えたものだから・・・

曇り空で今にも雨が降り出しそうな天気でした。それで、「今夜は休台かな？」と思っているとところへ電話が入りました。「少し晴れ間が見える。今夜月を見たいので来台したい」とのこと。「今、こちらはとても雲が多い状態、月は見えないかもしれませんが、それでも良ければどうぞ」と答えて、天文台に向かい開台準備。2名が来台されたので、40cm反射望遠鏡を起動して構造や動作を説明。Seestarで撮影した月などの画像を使って解説。「どうしても月を見たい」「満月に興味がある」のだそうですが、「月は半月の頃が見頃ですよ」

と解説したら、「じゃあ、次回は半月頃にまた来ます」とのことでした。

7/3(水)、テレビ熊本(TKU)が取材に来台、5日(金)に放映

7/2(火)、「七夕」についての問い合わせ電話があつて、翌日に来台取材



「天の川っていったい何なの？」
「なぜ、七夕には天の川なの？」
「天の川って七夕にだけ見えるの？」
ふと浮かんだ疑問をいったん口に出すと、次々に疑問が浮かんできて、その疑問と答えを視聴者にも伝えたい、そんな内容での番組スタッフからの電話問い合わせに答えていたら、「取材」を受けることになってしまいました。

電話では「新暦の7月7日は毎年梅雨の豪雨期ですから、七夕は旧暦で（8月中旬から下旬頃）楽しんでください」と答えておいたのですが、たまたま今年は梅雨の中休み。お天気予報でも7日（日）まではなんとか晴れが続きそう、おまけに6日（土）が新月ですから、21時頃から天の川が見えるはず。それで、急遽解説の内容を変更しました。

電話では「新暦の7月7日は毎年梅雨の豪雨期ですから、七夕は旧暦で（8月中旬から下旬頃）楽しんでください」と答えておいたのですが、たまたま今年は梅雨の中休み。お天気予報でも7日（日）まではなんとか晴れが続きそう、おまけに6日（土）が新月ですから、21時頃から天の川が見えるはず。それで、急遽解説の内容を変更しました。

取材スタッフと内容を打ち合わせして、観測室で質疑応答を撮影。解説用として天の川の映像や画像をメールで送って、翌々日午前の放映に間に合わせました。

7/6(土)、七夕目当てか？ 14組48名で大にぎわい！

続々と来台が続き、観測室に入りきれず、久しぶりに玄関前広場でテレビ観望も！

「七夕」前日の土曜日（公開日）だからでしょうか？ 久しぶりの大にぎわいでした。

40cm反射望遠鏡では、アークトゥルス・スピカ・ベガ・WWスター・M4・M13・M21・M7・M6・アルビレオ・アンタレスを観察。公開途中から玄関前広場に設置した Seestar で、スピカ・アンタレス・M4・M20などをテレビ観望。

肉眼で星空を見上げ解説をしながら、空が暗くなった21時以降に天の川の観察と解説も。7/5（金）午前のTKUでの「天の川」解説を見て来台された方もありました。

また、観測室や玄関前広場で記念撮影も実施。望遠鏡を背景に撮影したり、天の川をバックに記念写真を撮影し、それをカメラの液晶ディスプレイに表示。その画面をスマホで接写して持ち帰って貰いました。スタッフは5名、公開が終了したのは、22時を過ぎていました。



記念撮影例

左：観測室で
右：敷地入口で
どちらも、
背景に天の川

13 2024 07 02.483 C 7.3 UO 5.0R 5a 50 3.6 0.28 49 ICQ XX KOB01

梅雨の夜の星

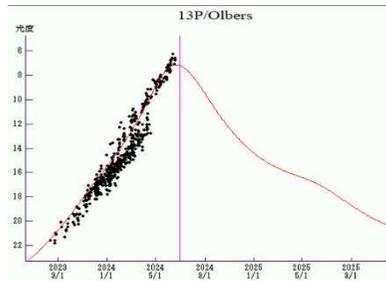
Porco Nisse

13P/Olbers 2024/07/06.481UT S50(250mmF5) SS:10secx12ST S5K

★ 13P/Olbers

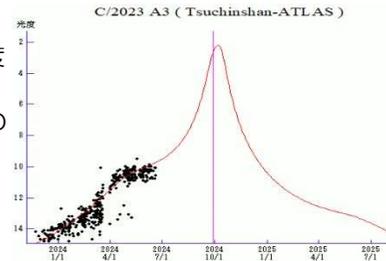
この彗星は6月30日に近日点を通過した。以降は減光に転じるのは右図をみるとおりだ。ただ残念なことに熊本は悪天候が続いて6月はほとんど観測できなかった。梅雨の晴れ間にやっと撮影できたのが上図だ。この日の画像から測定した光度は7.3等だった。

良い条件で撮られた画像がネットに公開されている。アンチテイル気味に広がったダストの尾とうねりながら伸びるイオンの尾を持つ彗星の姿がある。つくづく雲ばかりの空が恨めしい。



★ C/2023 A3 (Tsuchinshan-ATLAS)

6日に撮影できた画像が下左図だ。この日の画像から測定した光度は10.8等だ。これは5月からほとんど明るくなっていない。それは右図をみても分かる。日心距離は1.79auと既に2auを切っているのだ。大彗星の期待も雲行きが怪しくなってきた。



★ T CrB

彗星ではないが、明るい新星になると言われるかんむり座T星の撮影を続けている。Seestar S50は変光星の観測も可能な優れものだ。

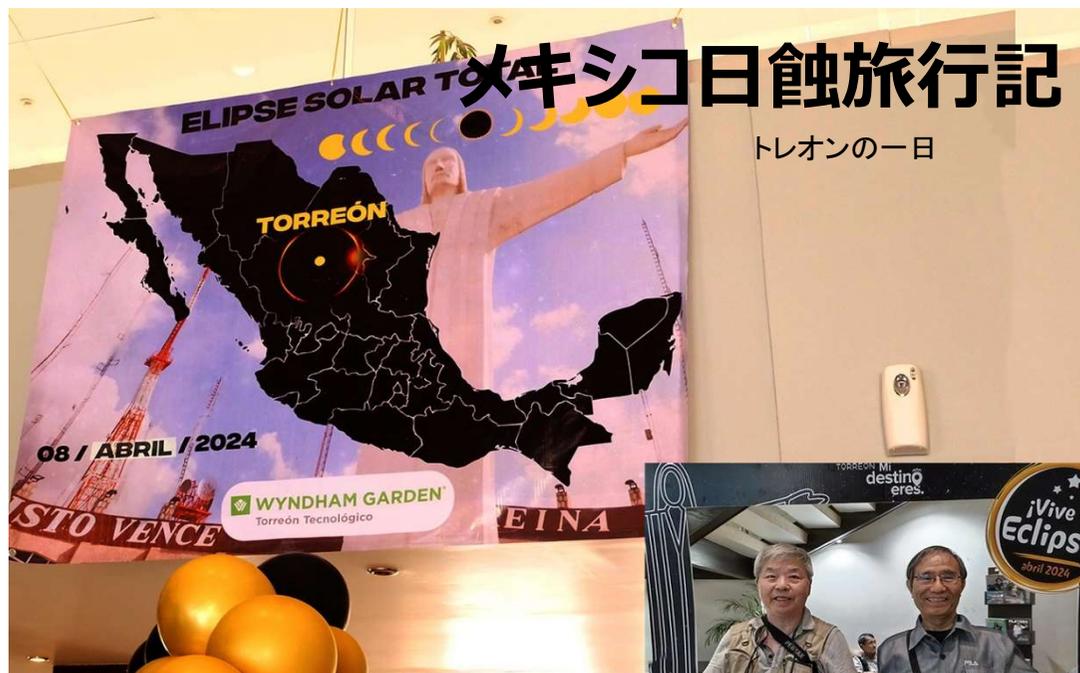
★光度カーブ図は吉田誠一氏作成

2023 A3 2024 07 02.505 C 10.8 UO 5.0R 51 40 1.2 0.16102 ICQ XX KOB01

2024 07 06.517 UT T CrB 9.749 60sec Seestar S50 S50

C/2023 A3 (Tsuchinshan-ATLAS) 2024/07/06.507UT S50(250mmF5) SS:10sec

T CrB 2024/07/06.519UT S50(250mmF5) SS:10secx12ST S5K



目がざめて窓の外を見ると雲が多い。天気予報は9日までずっと曇りだという。成田から同じ便だった九州の別のツアーではトレオンを諦めてデュランゴへバスで移動するという。我々はどうすかの議論がずっと続いていた。意見を聞かれたので、各々の希望で良いのではとっておいた。自分としては予定通りここで観測するとも。その後どのように議論されたか定かではないが全員トレオンにしたようだが、全ては自己責任だぞ、人のせいにはするなよ。

朝食後観測予定地の下見をした。歩いて五分ほどの所にあるモンテレー工科大学トレオン校の一角だ。高いフェンスに囲まれた練習場の広さは十分にある。人工芝と言うか、タータンみたいな足元だ。そこに南北線を三本設置した、これで全員の機材設置が楽になるだろう。

午後はトレオン市内の観光になった。日蝕が明日ということもあって、立ち寄ったモールには日蝕の展示が目にはいった。1923年9月10日のメキシコ日蝕時の記録画像と書かれていた。ということは今回が100年ぶりの日蝕になるのか。でも現地の人にはあまり関心がなさそうに感じる。

トレオン市の人口はおよそ70万人(国勢調査はないとのこと)と言われ、熊本市と同程度の規模となる。緯度は北緯22度、標高は1100mほどだ。基本砂漠気候で乾燥地帯だが灌漑によって農業が盛んとなり、近くに鉱山も多いときいた。ここのお勧め観光スポットと言えばChrist of the Noasになるかな。トレオンの町が一望できる丘の上にあるキリスト像だ。車や徒歩でも行けるが、麓からロープウェイで行くとアッという間に着く。ただし小さなキャビンなので乗るまでに長い列を待つ必要があった。大きなキリスト像の後ろに礼拝場(と思う)があったので、中に入って明日の晴天祈願した。思わず二拝二拍手一拝をしそうになったのはここだけの話。メキシコ国民のほとんどはカトリックでこのキリスト像も人気だという。見上げると空は雲の隙間に青空が見えた。

夕刻の晴れ間に田中氏が12P彗星の撮影に挑戦した画像を見せてくれた、明日は晴れるかな。

◇ 青空とは言えない天気が続く

◇ Christ of the Noas

続く



ちよつと一服

Poem & Illustration

梅雨です。6月末から7月初めにかけて派手に降っていた雨が、ぱたりと止んで、真っ青な空に白い雲、クマゼミの合唱が始まったので、早い梅雨明け?と思ったのですが、甘かった。数日のカラカラ天気を経て、またまた週間予報に傘マークが並んでいます。

さて、金星が、日没後の西の低空に顔を出し始めました。とはいえ、まだ超低空ですので宵の明星が目立つようになるにはもうちょっとかかりそうです。惑星がにぎやかなのはやはり夜明け前。みずがめ座付近の土星は夜明け前に南中。おうし座付近の火星と木星は、日の出前、東の空に目立って輝いています。アルデバランと、ちょうど三角形を作ってますね。細い月とのスリーショットは、7月30日から8月1日にかけて、また見られます。今度こそ撮るぞ!

そして8月12~13日は、ペルセウス座流星群。月齢8なので、夜中の観望は月に邪魔されずに済みます。こちら楽しみですね。

今月一枚は、7月7日の夏の大三角形。梅雨のさなかの七夕でこんなに晴れ渡った夜空を見られたのはラッキーでした。



たなばた

豪雨と日照りが交互にやって来て
紺碧の空のもと
洗い落とされた数多の煩惱を集めて
緑川は濁流となった
遊水地はまだギリギリ持ちこたえている

夜には
呼び戻された水たちが
天の川を遡る
幾重にも重なった薄絹の衣をまとい
女神は
素足で夜を踏む

本来の七夕はねえ 八月なのよ
新暦の7月7日は梅雨の真っ最中でしょう？
星なんて見えやしないじゃない

織姫も彦星も
雲に隠れての逢瀬のほうがいいのかもしいが
あいにく 今夜は晴天
煩惱を洗い落とした川の両岸で
いつまでも来ない月の船を 待っている



By Dio

2024年6月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 2日/5日=20%
一般来台者数 2名

総開台日数 2日
会員来台数 4名

日付	天気	担当運営	来台数	記事
15日 (土)	くもり	艶島 小林 杉山	0名	雲間に月が見えるので開台。 しかし、来台者がなく20h半頃には一面の雲 そこで、公開終了 鏡面の冷却を45分間 Windowsのアップデート Linuxのアップデート
22日 (土)	雨の ち曇	艶島	2名	「月を見たい」と以前問い合わせを頂いた方 今日も電話があって「来台したい」とのこと そこで開台 望遠鏡を起動して説明 月などSeestarの画像を使って説明 「次回は半月頃に来る」そうです！

天気が悪いと物欲の虫が騒ぎ出す・・・

Hige

先月号に書いたとおりに事態は動いていった。仕事を始めてお金が入ってくるようになると、やっぱり気が大きくなるもんですねえ！

なんか、ちょっと頑張れば結構欲しいものが手に入るような気分になってしまふもんなんです。

というわけで、ご想像の通りいろいろと買い込んでみました。なにせ、ZWO値上げのお知らせが入っているものですから、気持ち之急き立てられるようで、冷静な判断が出来なくなってしまっていますね。

とりあえず、今回ポチったものを並べてみましょう。

- 1 ZWO EAF オートフォーカサーアドバンスセット
- 2 ZWO ASI-220Mini オートガイド用モノクロカメラ
- 3 ZWO SeeStar S50 スマート望遠鏡

確かこれだけだったと思います。

時間を見つけて、屋上の望遠鏡に取り付けて、撮影出来るように準備を進めました。しかし、なかなか晴れた日がありません。昼間は晴れても夕方になると雲が湧いてきて、星は見えない日が続きました。何とか晴れ間が見えたのが6月18日の夜でした。急いで準備を進めましたが、ガイドカメラの設定やEAFの設定などいろいろとやっている中に時間が過ぎてしまって、撮影を始

める頃には雲が流れ始めてしまいました。何とか撮れたのはC2023A3だけでした。

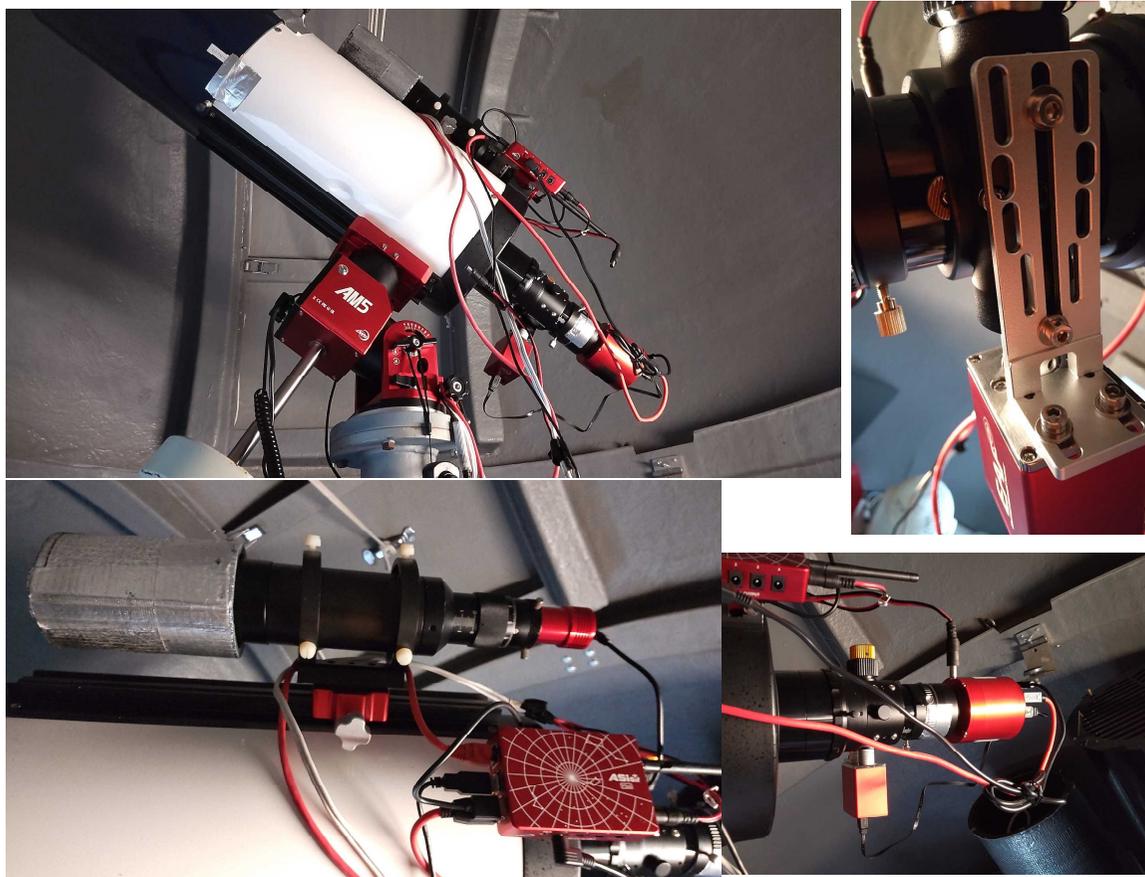
しかし、EAFを使ってみて感心したのは、ピント出しのスムーズさでした。これまで使っていたダイチの β -SGRに比べて圧倒的に操作が簡単で、ピントカーブをすいすいと描いてピント出しが終わっていく様子は、感動的でした。タブレットだけで終わるのもお手軽でいいですね。

ガイドカメラもモノクロのASI-220に変えたら、感度も視野も好くなって楽になりました。

SeeStar S50については、皆さんがたくさん書かれているので、ほぼ付け加えることはないようです。とにかく簡単なのが一番です。ポン置きであとはお任せで写真になっていくのはやはり感動します。屋上のGS200RCも同じように撮影できるのですが、それは据え付けてあるからこその手軽さです。これを毎回赤道儀を出して極軸を合わせ、ピントを出してガイド鏡をセットしてなんてやっていたら、とても自分には撮影を続ける気力が出来ません。

しかし、SeeStarなら空のいいところでポンと出してスイッチを入れれば、あとはタブレットで終了です。いやあ、いい世の中になったものです。

あとは晴れた月のない夜だけですね。これがなかなか・・・



先月の梅雨入り予想は、ものの見事に外れてしまいました。梅雨入り発表後にまさかの中休み。かと思うと大雨。そしてまたまた中休みの晴れ続き。今年も変な気候ですね。星屑が届く頃は、また大雨続きの予報ですが、被害が出ない事を願うばかりです。さて、今年の伝統的七夕は、8月10日です。梅雨明けの空を、楽しみましょう。

☆8月の天文現象&行事☆

- 2日(金) 火星とヒアデス星団が最接近
- 3日(土) ケンタウルス座T星が極大(5.6~8.4等 周期181日)
- 4日(日) 水星が留(17:21) 新月(20:13)
- 6日(火) 夕方、細い月と金星が接近
- 7日(水) 立秋(りっしゅう)…暑気はまだ強いが涼風吹き始め、秋の気配立つので立秋
- 10日(土) 伝統的七夕 スピカ食(福岡:暗縁から潜入 20:13→20:52)
- 12日(月) ペルセウス座流星群が極大(23時)
- 13日(火) 上弦(00:19)
- 15日(木) 天王星が西矩(05:57 5.7等 視直径3.6")
- 18日(日) はくちょう座 κ 流星群が極大(4時)
水星が内合(13:05 4.7等 視直径11.0")
- 20日(火) 満月(03:26)
- 21日(水) 宵~深夜、月と土星が並ぶ
さそり座RR星が極大(5.0~12.4等 周期281日)
- 22日(木) 処暑(しよしよ・・・ 旺盛な太陽も次第に衰え、暑熱も退く)
- 26日(月) 下弦(18:26)
- 28日(水) 未明~明け方、月と火星が並ぶ 月が火星に最接近(12:07)
- 31日(土) 未明~明け方、細い月とプレセペ星団が接近

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2024年8月号 通巻593号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01700-5-105697
 NPO熊本県民天文台事務局
 天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp
 メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで